

本ワーキンググループ及び統計委員会等で指摘されている主な検討課題

毎月勤労統計調査の改善として、調査方法、標本設計、推計、公表などで、今後検討すべき課題がある。

調査方法・標本設計

- 地方調査と全国調査を合わせた設計の検討
- 調査対象事業所数の見直し（500人以上規模事業所の全数調査の在り方の検討など）
- 調査員への依存度の少ない、安定的に調査が実施できる方法の検討
- 企業にとって負担のない形での調査方法の検討

推計方法

- 母集団労働者数の推計における雇用保険データによる補正の適合度合い（0.5）の検証
- 回収率を考慮した推計方法の検討
- ベンチマーク更新で結果がゆがまない計算方法や遡及推計の在り方の検討

公表関係

- サンプル入替えやベンチマーク更新に関する情報開示
- 利用者が使いやすい形での公表方法、数値に訂正が生じた場合の通知の方法
- 季節調整手法の見直し
- 地方調査について、都道府県間の公表様式の統一
- 統計結果の誤りが生じないための工夫

※ 検討に当たっては、標本設計と推計方法など、相互に関連する内容があることに留意が必要。